

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12320	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	夜間急病診療事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第2施策	救急医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

急病診療事業実施要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
夜間における市民の急病に対する医療の確保を図るための初期救急医療機関を確保する。	市民全般
	対象数 616,439人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1 初期救急医療機関(初期診療に対応)の確保	
・相模原メディカルセンター 診療時間20(19):00(休日は17:00)~23:00、診療科目 内科・外科 受診者数 8,395人	
・相模原南メディカルセンター 診療時間20(19):00(休日は17:00)~23:00、診療科目 内科・外科 受診者数 4,269人	
・有床医療機関(毎夜間1ヶ所) 診療時間19:00(休日は17:00)~9:00、診療科目 内科系	
2 コール医療機関(特殊な疾病等の診療に対応)の確保	
・市内医療機関 診療時間19:00~9:00(土曜・休日は17:00~)、診療科目 内科・外科、受診者数 369人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度~年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	患者数(人)	受診者合計	メディカルセンター患者実績を、成果指標とする	12	13	14	15	16
				16,827	13,432	12,664		
活動指標	開設率(%)	開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況を見る	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		285,757	259,404	204,046	214,459	214,459
	人員・時間数	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年
	人件費	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	287,857	261,504	206,146	216,559	216,559
	特定財源	419	269	188	0	0
	対象数	607,293	612,605	616,439		
	対象の単位あたり経費	0.5	0.4	0.3	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	夜間における救急医療は、市民が安心して生活していくうえで、必須なものであるため、十分達成できていると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	夜間における急病患者のための初期救急医療機関の確保であるため、必要性はあると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	一般の医療機関が開設されていない夜間帯における事業であるため、非常に有効的なものであると考えている。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	事業の性格上費用対効果を図ることは難しいが、効率性は十分あると考えられる。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民全般に対する急病事業であるため、公平性は十分保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後とも夜間に初期診療医療機関を利用する患者は更に増加することが予想されるため、更なる向上が図れると考えている。	手段	更なる事業の効率化を図っていくため、医療関係団体とも連携を図りながら、調整を図っていきいたいと考えている。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		夜間急病診療事業は、診療時間帯等の事業内容の違いはあるが、県下ほとんどの自治体で実施している。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	初期救急医療機関を確保するため、夜間における急病患者に対する医療の確保を図ることは今後とも必要なことから、更なる充実を図っていく必要がある。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

積算単価の見直しを行っていくこと
